

目次

はしがき.....	1
本報告書の概要.....	2
目次.....	3
図表目次.....	5
モザンビーク地図-1.....	7
モザンビーク地図-2(プロジェクト・サイト訪問先).....	8
略語表.....	9
第1章 評価のまとめと提言.....	11
1-1 評価のまとめ.....	11
1-2 日本の今後の対モザンビーク援助政策への提言.....	13
1-2-1 援助の戦略化.....	14
1-2-2 重点分野・対象地域についての考え方及びリソース配分の再整理.....	15
1-2-3 援助実施プロセス・現地機能の強化.....	18
第2章 評価の目的と実施方針.....	20
2-1 評価の背景と目的.....	20
2-2 評価の対象・期間.....	21
2-3 評価の実施方法・枠組み.....	21
2-4 評価実施体制.....	23
第3章 モザンビークの開発状況と日本及び他ドナーの援助動向.....	25
3-1 モザンビークの政治・経済・社会状況.....	25
3-1-1 政治情勢.....	25
3-1-2 経済動向.....	25
3-1-3 社会開発の現状.....	30
3-1-4 内戦・災害復興と開発援助の受入れ.....	33
3-2 モザンビーク政府の開発課題と開発政策.....	36
3-2-1 国家開発計画(5か年計画)とPARPA.....	36
3-2-2 セクター別開発計画・戦略.....	37
3-3 日本の対モザンビーク援助.....	42
3-3-1 平和協力・復興支援から開発支援へ.....	42
3-3-2 日本の対モザンビーク ODA の実績.....	44
3-3-3 TICADIV とモザンビーク支援.....	47
3-4 主要ドナー及び NGO、民間セクターの動向.....	50
3-4-1 主要ドナーの援助の概略.....	50
3-4-2 多国間ドナー.....	59

3-4-3 二国間ドナー	61
3-4-4 NGO 及び民間セクター	65
第4章 評価結果	67
4-1 政策の妥当性	68
4-1-1 日本の対モザンビーク援助政策の上位政策との整合性	68
4-1-2 日本の対モザンビーク援助政策と開発ニーズとの整合性	72
4-1-3 国際的優先課題との整合性	72
4-1-4 他ドナーの支援内容との相互補完性	73
4-2 結果の有効性	76
4-2-1 日本の ODA の全体の特徴と傾向	76
4-2-2 重点分野に対する援助の実施状況	77
4-2-3 日本の援助投入の貢献度	81
4-2-4 重点 3 分野の目標達成	102
4-3 プロセスの適切性	104
4-3-1 案件の形成・採択プロセスの適切性	104
4-3-2 国際機関・他ドナー・NGO 等との援助協調・連携の適切性	112
4-3-3 日本の援助の広報、理解度	117
4-3-4 その他、留意すべき点	118